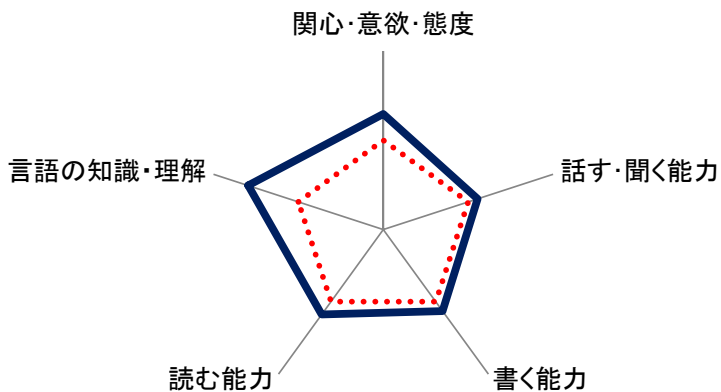


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

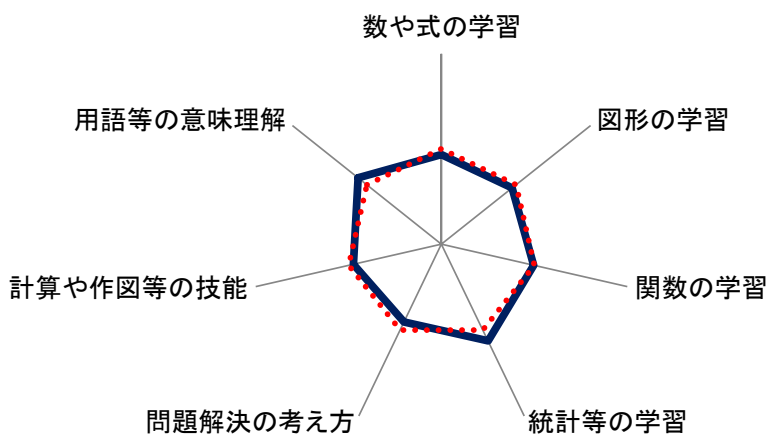
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

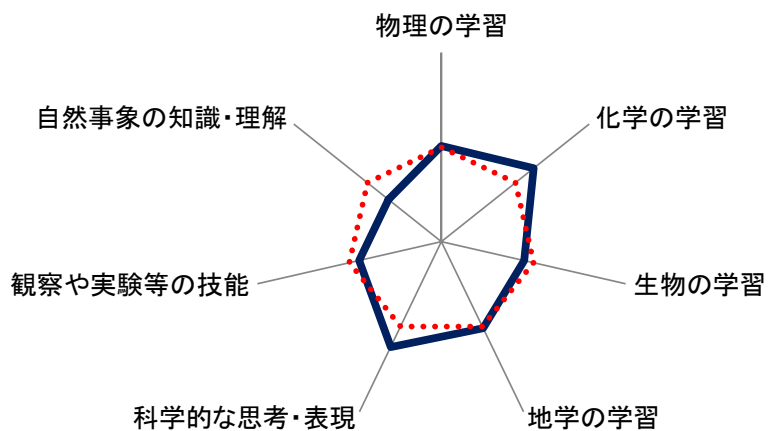
— 町平均
..... 全国平均



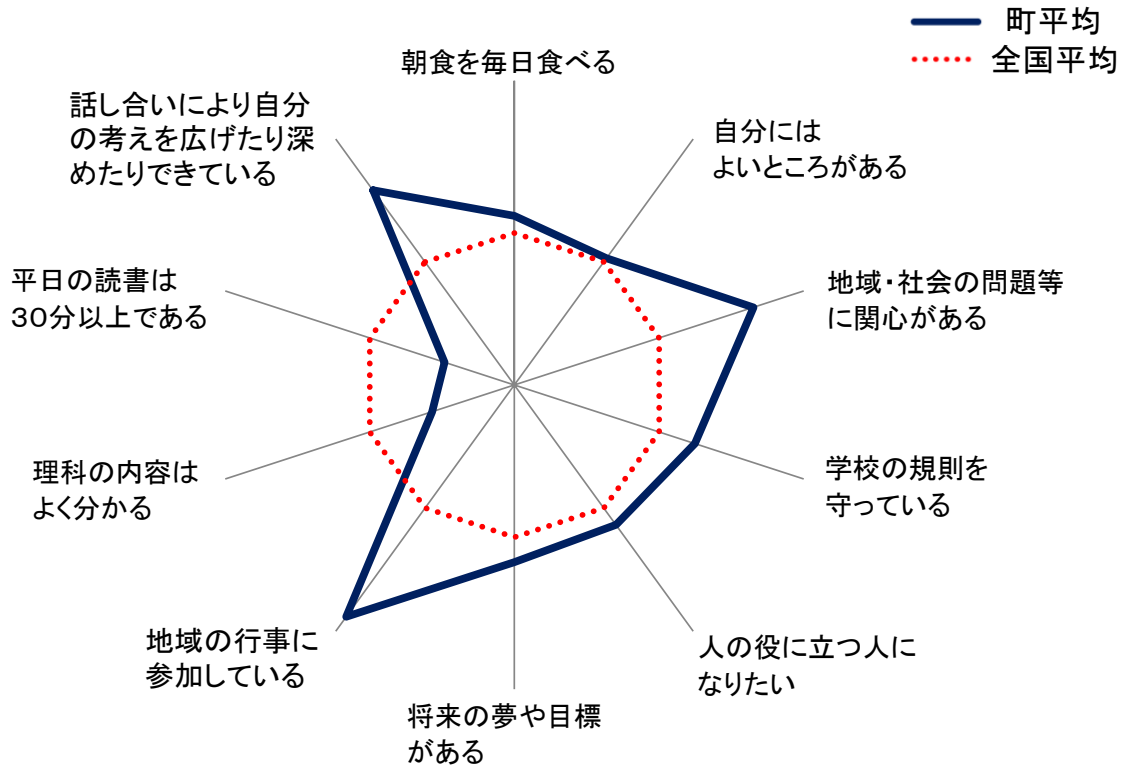
【数学】



【理科】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学ともに、全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っている。特に国語は「言語の知識・理解」の項目がきわめて良好である。理科は「科学的な思考・表現」の項目が良好であるものの「自然事象の知識・理解」や「観察や実験等の技能」の各項目に課題が見られる。今後も知識と活用のバランスの取れた学力を維持していけるよう、生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導を継続することが望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている多くの項目で肯定的な回答が、全国平均とほぼ同じか上回っている。特に「地域の行事に参加している」や「地域・社会の問題等に関心がある」の各項目が、小学校と同様に良好である。また、「話し合いにより自分の考えを広げたり深めたりできている」の項目においても全国平均を大きく上回っており、言語活動の充実を意識した取組の成果がうかがえる。昨年同様、「平日の読書時間」の項目に課題が見られる。読書活動の充実に向けて、小中で連携した取組や、家庭や地域への啓発等を工夫していく必要がある。また、理科の学習においては、「楽しい授業、分かる授業」に向けて、更なる授業改善が望まれる。